

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成23年4月号 (第94号)

三月定例市議会

すべて原案どおり可決

二月二十八日から三月二二日まで、今期(四年間)最後の「三月定例市議会」が開催されました。

そして、市長から提案があった平成二二年度当初予算をはじめ、平成二二年度補正予算案、条例案など二七件の案件は、いずれも原案どおり可決されました。

復興支援基金の創設も

また最終日には、馬場市長から基金条例の一部改正案が追加提案されました。



いつも笑顔で元気な山さん

この条例案は、寄付金など市民の皆さんからの善意を東北地方太平洋沖地震による被災地復興支援に充てるため、『東北地方太平洋沖地震復興支援基金』を創設するものです。

この条例案は、全会一致で可決されました。

学校施設の耐震化促進も

三月市議会でも可決された平成二二年度補正予算には、国庫補助金などを活用して市内の小中学校施設の耐震化を促進するための予算も含まれています。

これにより、平成二二年度末には、市立小中学校の耐震化率が七〇・三%(現在五六・二%)まで進む予定です。

また、このまま順調に進めば、当初平成二七年度末に完成を予定していた市内の小中学校の教室、体育館などの施設の耐震化工事が、一年前倒しで、平成二六年度末までに完成する見込みです。

良好な街づくりの条例も

また、三月市議会でも可決された条例には、「宇谷」「梅が丘二丁目」「寝屋南」「幸町」の4地区で良好な街づくりのための地区計画が制

定されたことにより、建築基準法に基づく区域内の建築物等に関する制限を定める条例も含まれています。

大震災の被災地に

できる限りの復興支援を!

三月十一日に発生した東北関東大震災に対して、寝屋川市では、災害発生後いち早く被災地へ二四〇〇万円(市民一人あたり百円)の義援金を送ることを決定し、救援隊として、枚方寝屋川

消防本部職員や水道局職員を被災地に派遣しました。また、市内公共施設四カ所に募金箱を設置すると共に、市長や議員有志、市職員も街頭に立って、義援金の募金活動を行いました。

統一地方選挙の日程

大阪府議会議員選挙
4月1日(金)告示、10日(日)投票・開票

寝屋川市長・市議会議員選挙
4月17日(日)告示、24日(日)投票・開票

【期日前投票について】

- 府議会議員選挙
4月2日(土)～9日(土) AM8:30～PM8:00
- 市長・市議会議員選挙
4月18日(月)～23日(土) AM8:30～PM8:00

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

山さんの3つの目標

私はこれまで(二期・八年間)の議員活動を振り返り、次の四年間に向かって、七つの目標を掲げて、三期目に挑戦いたします。

①市民が主人公のまちづくり

平成二〇年四月から「寝屋川市みんなのまち基本条例」が施行され、市民と議会と行政が協働の新しいまちづくりがスタートしました。

これからは、住民自治の基本である「市民が主人公のまちづくり」の実現に向かって市民の皆さんと一緒に頑張ります。

②いつも「市民の目線で」

私はこれまで「いつも市民の目線で」をモットーに議員活動を行ってきました。

これからも、常に「市民の目線」を大切に議員活動を行なっていきます。

③市民にわかりやすい議会に

最近、市民の皆さんから「議

会や議員が何をしているのか分からない」という声がよく聞かれます。

まず市議会の本会議などのテレビ中継やインターネット中継を実施し、市民の皆さんにわかりやすい議会作り、もっと市民の皆さんに開かれた議会作りを努力します。

④更なる「議員定数削減」を

議会では、今回の選挙から議員定数を三二人から二八人に四人削減することを決定しました。

私は、寝屋川市では二四人

(市民一人に一人の割合)の議員数で良いと思っています。

⑤議会報告の毎月発行

私は、議員には市民の皆さんに議会の報告をする説明責任があると思っています。

これからも、毎月、議会報告「山さんのホームページ」を発行して、地域や駅前で配布いたします。

⑥定期的に市政報告会の開催

私は、これまで定期的に地域を回って「山さんのミニ市政報告会」を開いてきました。これからも、この活動を続けてまいります。

⑦元気なまちづくり

私は、『元気都市ねやがわ』の基本は、まず市民の皆さんが、お互いに「大きな声で元気なあいさつが交わす」ことからだと思っています。

これからも、駅前や地域で『山さんの元気なあいさつ運動』を続けてまいります。

山さんのコラム

頑張れ被災地の皆さん

三月十一日に発生した東北関東大震災は、M9.0の大地震と大津波によりあつと言間に死者・行方不明者合わせて二万人を超える尊い命を呑み込んでしまった。

これは、我々日本人がこれまで誰も経験した事がない正に未曾有の大災害である。

被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げると共に、亡くなられた皆さまのご冥福を心からお祈りしたい。

ご家族を亡くされた方をはじめ、被災された皆さんのお気持ちには察するに余りあるが、できれば、いま自分が生かされていていることに感謝して、明日に希望をもって生きていきたい。

起きてしまった事は、もう元には戻らない。どんなに苦しくても、ただ前を向いて進むしかないのだ。日本中の人が皆さんを応援している事を思い出していただきたい。

